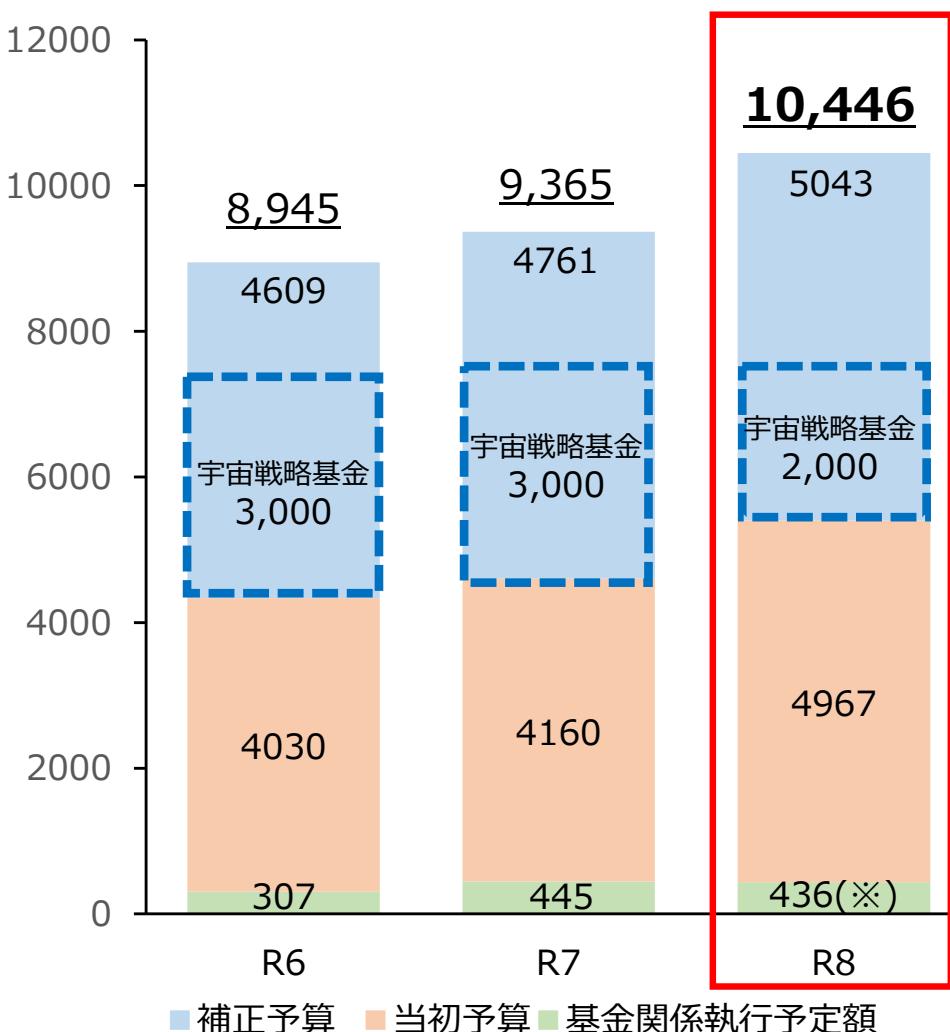


令和8年度当初予算案及び令和7年度補正予算における宇宙関係予算

合計 1兆 446億円 (対前年度比 1,081億円増 [+12%])

(令和8年度当初予算案 4,967億円 + 令和7年度補正予算 5,043億円 + 令和8年度基金関係執行予定額 436億円)
(令和7年度当初予算 + 令和6年度補正予算 + 令和7年度基金関係執行予定額 9,365億円)

(単位: 億円)



| 府省名 | R7補正 | | R8当初（案） | | 合計 | |
|----------|-------|--------|---------|------|--------|--------|
| | 対前年 | 対前年 | 対前年 | 対前年 | 対前年 | 対前年 |
| 1. 内閣官房 | 328 | +3 | 622 | ▲0 | 950 | +3 |
| 2. 内閣府 | 190 | +2 | 214 | +8 | 404 | +10 |
| 3. 警察庁 | - | - | 9 | +0 | 9 | +0 |
| 4. 総務省 | 1,825 | +1,275 | 87 | ▲7 | 1,911 | +1,267 |
| 5. 外務省 | 5 | +5 | 3 | +0 | 8 | +5 |
| 6. 文部科学省 | 1,555 | ▲597 | 1,518 | +2 | 3,073 | ▲595 |
| 7. 農林水産省 | 100 | +71 | 35 | ▲10 | 135 | +61 |
| 8. 経済産業省 | 886 | ▲114 | 53 | ▲20 | 939 | ▲134 |
| 9. 国土交通省 | 121 | ▲359 | 188 | ▲20 | 309 | ▲379 |
| 10. 環境省 | 3 | +3 | 55 | +1 | 58 | +4 |
| 11. 防衛省 | 30 | ▲6 | 2,183 | +854 | 2,213 | +847 |
| 合計 | 5,043 | +282 | 4,967 | +807 | 10,010 | +1,090 |

(注) 四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

※「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）
及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマについて、436億円を計上
(令和7年12月時点見込み)。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計： 1兆 446億円

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】

- 情報収集衛星の開発・運用

950億円 【農林水産省】

135億円

【内閣府】

- 準天頂衛星システムの開発・整備・運用
- 宇宙開発利用推進費
- 中央防災無線網の運用等
- 衛星データ等を活用した船舶警戒監視システム開発・運用

950億円 ● スマート農業技術開発・供給加速化対策

90億円

404億円 【経済産業省】

939億円

- 宇宙戦略基金（経済産業省計上分）
 - 経済安全保障の確保に資するサプライチェーンの強靭化事業（人工衛星、ロケットの部品）
- ※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（166億円）及びSBIRフェーズ3基金（91億円） 合計257億円

【警察庁】

- 高解像度衛星画像解析システムの運用等

【国土交通省】

309億円

【総務省】

- 宇宙戦略基金（総務省計上分）
- 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業
- 革新的情報通信技術（Beyond 5G(6G)）基金事業

1,911億円

119億円

310億円

71億円

1,500億円

25億円

239億円の内数

65億円

9億円

58億円

9億円

40億円

8億円

2,213億円

3億円

262億円

5億円

208億円

203億円

24億円

38億円

241億円

48億円

487億円

【外務省】

- 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進
- 宇宙技術を活用したアフリカ・太平洋島嶼国の災害対応力強化及び画像分析基盤の強化

※この他、無償資金協力およびJICA交付金（3,012億円）

の一部にて、グローバルサウスへの宇宙分野に関する援助を実施

3,073億円

950億円

38億円

48億円

487億円

【環境省】

3億円

【防衛省】※歳出予定額を記載

5億円

【防衛省】※歳出予定額を記載

2,213億円

【文部科学省】

- 宇宙戦略基金（文部科学省計上分）
- 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化
- 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発
- RAMSES（プラネタリーディフェンスのための惑星探査）
- アルテミス計画に向けた研究開発等

3,073億円

950億円

203億円

38億円

48億円

487億円

※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（49億円）

及びSBIRフェーズ3基金（130億円） 合計179億円

宇宙開発戦略推進事務局の令和8年度予算案

1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

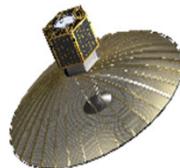
R8当初169.1億円+R7補正171.2億円 計 340.3億円

(※R7当初169.1億円+R6補正予算136.9億円 計306.0億円)

- 持続測位が可能となる7機体制の確立と、バックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大が可能になる11機体制の構築を目指し、2、3、4号機後継機及び8号機並びに地上設備の開発・整備を実施。



準天頂衛星「みちびき」



©iQPS, Inc.

SAR衛星コンステレーション
利用実証

2. 宇宙開発利用推進費

R8当初23.0億円+R7補正17.7億円 計 40.7億円

(※R7当初23.0億円+R6補正50.0億円 計73.0億円)

- 衛星・月面関連技術等、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進。

3. その他（調査、事務費等）

13.2億円 (※R7当初10.5億円)

※機構定員拡充に伴う事務費增加分を計上。

R8当初205.2億円 + R7補正 188.9億円 合計 394.1億円

(※R7当初202.6億円+R6補正予算186.9億円 計 389.5億円)

（参考）宇宙戦略基金

2, 0 0 0 . 0 億円【文科省：950億円、経産省：740億円、総務省：310億円】

(※R6補正予算：3 0 0 0 . 0 億円)

- 速やかに総額1兆円規模の支援を行うことを目指すとともに、民間投資や宇宙実証の加速、地域やスタートアップ等の国際競争力につながる特色ある技術の獲得・活用や産業の集積等を促進するため、スタートアップを含む民間企業や大学等の技術開発への支援を強化・加速。